



中川根中学校2年
藤田聡太郎くん

積極的に話しかける勇気もらった

僕はこのカナダ研修で何でも積極的に取り組む大切さを学びました。ホストファミリーとの会話で恥かかっていると自分の伝えたいことが伝わりません。でも英語が上手なくても積極的に話せば、自分の思いはちゃんと相手に伝わります。僕がホストファミリーに自分の趣味について話した時、最初は自分の英語が通じるか心配でした。しかし、ここで話さなかったらだめだと思い、勇気を出して話しました。そしたら相手も笑顔で話してくれたんです。とてもうれしくなりました。この研修で、積極的にコミュニケーションする大切さを学んだ気がします。



中川根中学校2年
森隆弥くん

自分から伝えようとする大切さ

僕の研修テーマは「コミュニケーション」でした。コミュニケーションには会話が欠かせません。僕はこの研修期間中、積極的に話をしようと決意して参加しました。現地では、ホストファミリーといろんな話をしました。最初は緊張もあり、聞き取れなかった言葉もたくさんありましたが、徐々に慣れ、分かってくると会話が楽しくなりました。言葉で分からない時にはジェスチャーを交えながら伝えることができました。コミュニケーションは、自分から伝えようとする気持ちが大事です。その気持ちさえあれば、相手にも必ず伝わると改めて実感できました。



中川根中学校2年
鈴木ほのかさん

気軽なあいさつに親しみ感じた

ホストファミリーの第一声「ハローホノカ」。これが初めて聞いた本場の英語です。日本では初対面の人にこんなに気軽にあいさつすることはないと思います。ホストファミリーはとても優しく、楽しい時間を過ごしました。昼間は授業を受けたり、施設訪問をしたり、スポーツを体験したりしました。そして夜はホストファミリーと一緒に過ごす時間。ファミリーは、会話を理解できないわたしを気遣い、ゆっくりとジェスチャーを交えながら話してくれました。わたしも単語を並べ、自分の思いを一生懸命伝えました。伝えることの大切さを実感しました。



中川根中学校3年
佐藤翔太くん

思いを伝えるのは言葉だけじゃない

僕が研修で実感したことは、言葉が違ってても、表情やジェスチャーで互いのコミュニケーションがとれるということです。カナダの人たちやホストファミリーに自分の意見や思いを伝えるため、僕は言葉だけではなく、ジェスチャーをたくさん使いました。ホストファミリーに自分の意見がちゃんと伝わったときは、とてもうれしかった。カナダでは、とても優しい人が多く、毎日がとても楽しい時間でした。ホストファミリーには、いろいろな場所に連れて行ってもらいました。本研修の10日間を通して、素晴らしい思い出がたくさんできました。



中川根中学校3年
小林竜翔くん

何を伝えたいのかを感じ合う

この研修で僕が一番強く印象に残っているのは「言葉は違ってても、互いに何を伝えたいのかを感じ合うことが大切である」ということです。僕にとって初めての海外です。正直に言うと、知らないホストファミリーの家でちゃんとやっていけるか、英語しかない中で、しっかりと生活できるかなど不安がたくさんありました。しかし、実際に会ってみると、ホストファミリーはすごく優しくなりました。僕が言葉を聞き取れなかった時、ゆっくりと何回も何回も僕が分かるまで話してくれました。僕は今まで以上に英語が好きになりました。



中川根中学校3年
中村しずくさん

英語力をつけたいと実感した

わたしはカナダで多くのことを学びました。わたしにとって初めての海外ということで不安もありました。でも、ホームステイ先に着いて、ホストファミリーに会った時、とても歓迎してくれ、不安はすぐに消えました。現地では英語の授業も受けました。当然日本語を話してはいけません。英語だけの授業に慣れていないわたしにはとても難しかったです。でも徐々に慣れることができ、自分から話しかけることもできるようになりました。今回の研修では、とても良い経験ができました。この経験を生かして、さらに英語の力をつけていきたいです。

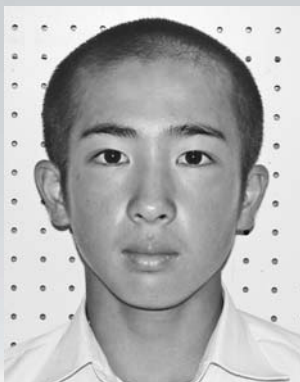
「10日間が残したもの」

どの生徒のレポートからも読み取れたのは「ホストファミリーの優しさや温かさが、子どもたちの不安を取り除き、チャレンジする勇気を与えた」ということだ。

初めて海外を経験する子が多かった。環境の変化に不安を感じる子も多かった。現地の学校で授業を受けたり、野外での活動に励んだり、初めてづくしの日々の中で、それでもみんなが積極的に行動できたのは、その根幹に、ホストファミリーの温かい人柄やアットホームな雰囲気という、安心できる環境があったからだろう。



子どもたちが「海の向こうの教室」で学んだことは、きっと計り知れないほど大きい。33人の心に、忘れられない「学び」として刻まれたはずだ。 終



中川根中学校2年
山中裕斗くん

ホストファミリーの心遣いに感動

僕の印象に残っていることは、カナダの人はとても家族を大切にしているということです。僕のホストファミリーは父、母、長女、長男、次男の五人家族でした。そしてホストファミリーにはたくさんの親せきがいて、毎日のように親せきの家を行き来し、みんなでパーティをしました。日本ではあまり見られない光景だったのでとても新鮮で驚きました。ホストファミリーは僕の体調を気遣ってくれ、本当に親切にしてくれました。その心遣いが今も心に残っています。困ったこともたくさんあったけど、すごく充実した研修でした。



中川根中学校2年
山下詩織さん

言葉や環境の違い実感した10日間

わたしは出発する前、ホームステイがとても不安でした。しかしホストファミリーは、わたしに優しく接してくれ、不安はすぐに解消されました。実際にカナダの人の英語は、スピードが速くて聞き取るのが大変でした。でも日がたつにつれ聞き取れるようになりました。少しずつコミュニケーションがとれるようになったんです。カナダには自然がたくさんありました。公園がたくさんあり、一面芝生だったり、花が植えられていたり、すごくきれいでした。いつもと違う環境に触れ、とても充実した時間を過ごすことができました。



中川根中学校2年
鈴木彩子さん

自分の視野を広げることができた

不安と期待でいっぱいの中、わたしはカナダに降り立ちました。飛行機を降りた瞬間、真夏の日本とはまったく違い、寒いくらいだと感じました。カナダに到着した瞬間から、日本との違いを肌で感じる事ができ、先が楽しみになりました。一番心配していた言葉の面では、英語を辞書で調べたり、ジェスチャーを交えるなどすることで、自分の意志を英語で伝える努力をしました。このカナダ研修では、日本とは違う文化をたくさん知り、また理解することで自分の視野を広げることができたと思っています。



中川根中学校2年
坂下航平くん

積極的な自分になれた気がする

本研修の募集があった時、僕はそんなに乗り気ではありませんでした。英語には自信がなく、あまり積極的に行動する性格でもないからです。でもやっぱり、本物の英語に触れて勉強して、少しでも上手に話せるようになりたい。そして、人と積極的に話ができるようになりたいと思い、勇気を出して応募しました。現地ではホストファミリーと積極的に会話するよう努めました。分かりづらい時もありましたが、何とか自分の意見を伝えることができたと思います。たった10日でしたが、日本を離れて生活することで、少し積極的な自分になれた気がします。



中川根中学校2年
小川昭くん

あいさつが返ってくる喜び感じた

僕がカナダで一番驚いたのは「サンキュー」と「ユーアーウェルカム」の会話がとても多いことでした。日本では英語の授業ですらほとんど使ったことのないのに、カナダでは食事や送迎のときなど一日5回以上使いました。慣れてくると当然のように思いますが、自分のあいさつが相手から返ってくることは、英語が話せない自分にとってすごくうれしいことでした。このあいさつは、日本でも使っていきたいと思いました。この10日間は、本当に初体験のことばかりでした。それらを通して、自分自身、成長できたと思っています。